

中学校 2年生 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1 目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】新しい技術・家庭（家庭分野） （東京書籍）

【副教材】 家庭科ワークノート （地域教材社） ハンドノートB 食生活 （正進社）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・「幼児の生活と家族」では、幼児の発達と生活、遊びや家族の役割を学び、幼児と触れ合う活動を通して、幼児との関わり方を工夫しよう。
- ・「これからの家族と地域」では、家族や高齢者など、地域の人々とよりよく関わり協働する方法を考えて工夫しよう。
- ・「生活の実践と課題」では、学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践し、実践したことを発表しよう。
- ・必要な準備物をそろえ、実習に備えよう。
- ・保育所や幼稚園での実習では、関係者からも学ぶという姿勢で参加し、あいさつやお礼などの礼儀にも注意しよう。
- ・実習では怪我をしたり事故が起きたりしないよう、安全に気を配ろう。
- ・「食品の選択と購入」では、食品を適切に選択できるようになろう。また、食中毒の防止について考えよう。
- ・「調理と食文化」では、日常食の調理や地域の食材を生かした調理ができるようになろう。
- ・「生活の課題と実践」では、学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の食生活を見直し、課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践し、実践したことを発表しよう。
- ・必要な準備物をそろえ、実習に備えよう。
- ・使用した調理器具や食器の片付け、使用後の部屋の掃除など整理整頓を心がけ、次に使う人が使いやすいようしよう。
- ・実習では怪我をしたり事故が起きたりしないよう、安全に気を配ろう。

○家庭学習の例

- ・身近な幼児を観察したり地域にある幼児のための施設を訪問したりして、学んだことを生かす機会を作ろう。
- ・よりよい家庭生活・地域とのかかわりを実現するためのアイデアや実践例をレポート等にまとめよう。
- ・よりよい家庭生活や暮らしやすい地域にするために家族や地域の人々の思いに触れる機会を持とう。
- ・授業で学んだ「食生活」に関する学習内容を生活の中のいろいろな場面で生かしてみよう。
- ・自分や家族の食生活を見直し、課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、レポート等にまとめよう。
- ・家族や地域の人々の「食生活」に関する生活の知恵や思いに触れる機会をもとう。

○定期テストへの取組の例

- ・技能の定着を図るために、計画的・継続的な練習を重ねよう。

3 評価について

観 点		
知識・技能 （何を理解しているか 何ができるか）	・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容 ・テスト ・調理実習
思考力・判断力・表現力 （理解していること・ できることをどう使うか）	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力が養えたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容 ・テスト

主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が養われたかどうかを見ます。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容
---	--	--

4 学習内容について

月	テスト	単元	評価の規準
4 5 6 7	定期①	■家族・家庭と地域 ○幼児の生活と家族 ・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の1日の生活 ・支えられて身に付ける生活習慣 ・幼児の生活と遊び ・生活の課題と実践 ・幼児との関わり方の工夫 ・幼児との関わりを生活に生かす ・子どもにとっての家族	【知識・理解】 ・幼い頃を振り返り、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児の体の発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について、振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態) ・家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
9		○これからの家族と地域 ・家族との関わり ・家族や地域の高齢者との関わり ・地域での協働を目指して ・学習を終えて	【知識・理解】 ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ・地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・高齢者との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設

<p>10 11 12 1 2</p>	<p>定期③ 定期④</p>	<p>○調理のための食品の選択と購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択と購入 ・生鮮食品の特徴 ・加工食品の特徴 ・食品の保存と食中毒の防止 <p>○日常食の調理と地域の食化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理 ・野菜・いもの調理 ・肉の調理 ・魚の調理 ・持続可能な食生活を目指して 	<p>定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・野菜・いもに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・肉に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・野菜・いもの調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・肉の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・魚の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・野菜・いもの調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・肉の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改
-------------------------------------	---	---	--

3		○生活の課題と実践	<p>善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
---	--	-----------	--